

## アイヌ政策推進交付金事業計画

1 事業名	苫小牧市アイヌ施策推進事業
2 事業の種類	(文化振興事業) (地域・産業振興事業) (コミュニティ活動支援事業)
3 事業の目的	地域に存するアイヌ文化を発信し、アイヌ民族の歴史や文化に対する市民の理解を深めるとともに、内外におけるアイヌ関連の交流活動を活発化させ、アイヌの人々が誇りを持って生活し、その誇りが尊重される地域社会の実現。
4 事業の概要	<p>(1)文化振興事業</p> <p>①アイヌ文化伝承事業</p> <p>○事業実施主体 苫小牧市</p> <p>○事業の実施場所 苫小牧市生活館</p> <p>○事業の実施期間 交付決定の日～令和4年3月31日</p> <p>○事業の内容と考え方 アイヌ民族の伝承技術等を学ぶ講習会（刺繍・木彫等）を開催し、アイヌ文化の伝承と普及に努める。また、多くの市民がアイヌ文化を体験し、制作した作品を苫小牧市内で展示することで、アイヌ文化に対する市民の理解を深める。</p> <p>○各種講習会参加予定人数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・刺繍講習会…72人（36人*2回）</li> <li>・木彫講習会…30人（30人*1回）</li> <li>・料理講習会…15人（15人*1回）</li> <li>・伝統工芸講習会…30人（30人*1回）</li> <li>・ムックリ講習会…15人（15人*1回）</li> </ul> <p>②ニュージーランドの先住民族等との文化体験・交流事業</p> <p>○事業実施主体 苫小牧市</p> <p>○事業の実施場所 ニュージーランド ネーピア市</p> <p>○事業の実施期間 令和3年11月</p> <p>○事業の内容と考え方 姉妹都市であるニュージーランドのネーピア市で開催する「姉妹都市締結40周年記念式典」において、アイヌ民族8名（本市アイヌ関係団体に所属する児童</p>

とその父母等)が歌や踊りを披露するほか、写真展におけるアイヌ文化の紹介や、送別会での懇談等により、現地の先住民族と文化の体験・交流を行う。

### (2) 地域・産業振興事業

アイヌ文化関連の観光プロモーション事業

#### ○事業実施主体

苫小牧市

#### ○事業の実施場所

苫小牧市美術博物館等

#### ○事業の実施期間

交付決定の日～令和4年3月31日

#### ○事業の内容と考え方

・美術博物館常設展示室「アイヌのくらし」コーナーにおいて、「蝦夷風俗十二ヶ月屏風」を従来のカラーコルトンからデジタル様式に変更する。また、デジタル化により既存の画像だけでなく、アイヌ文化に関する様々なコンテンツを盛り込む。これにより来館者にアイヌの文化や生活状況をより分かりやすく発信する。

・講師を招聘し、美術博物館においてアイヌの歴史講座を2回開催し、アイヌの歴史や文化に対する市民の理解を深める。

### (3) コミュニティ活動支援事業

アイヌ文化活動拠点である生活館の整備事業

#### ○事業実施主体

苫小牧市

#### ○事業の実施場所

苫小牧市生活館

#### ○事業の実施期間

交付決定の日～令和4年3月31日

#### ○事業の内容と考え方

老朽化した生活館の施設整備を行い、施設利用の利便性を高めるとともに、アイヌの人々と地域住民との交流の場を整備する。

温水洗浄便座設置工事(3基)

#### ○施設整備の場所及び用地の概要

苫小牧市矢代町2丁目1番11号、市有地/994.29㎡

#### ○規模及び構造

別紙図面のとおり

#### ○施設内容

	<p>別表2のとおり</p> <p>○利用計画</p> <p>別表3のとおり</p> <p>○維持管理費の収支計画</p> <p>別表4のとおり</p>
5 アイヌ施策推進地域計画における記載	<p>4-2 アイヌの伝統等に関する理解の促進に資する事業</p> <p>■アイヌ文化伝承事業</p> <p>アイヌ民族の伝承技術等を学ぶ刺繍や木彫等の各種講習会を開催し、アイヌ文化の伝承と普及に努めるとともに、アイヌ文化に対する市民の理解を深める。</p> <p>■ニュージーランドの先住民族等との文化体験・交流事業</p> <p>姉妹都市であるニュージーランドのネーピア市で開催する「姉妹都市締結40周年記念式典」において、アイヌ民族が歌や踊りを披露するほか、写真展におけるアイヌ文化の紹介や、送別会での懇談等により、現地の先住民族と文化の体験・交流を行う。</p> <p>4-3 観光の振興その他の産業の振興に資する事業</p> <p>■アイヌ文化関連の観光プロモーション事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美術博物館常設展示室「アイヌのくらし」コーナーに、音声ガイダンス付デジタル画面解説機器を導入し、アイヌ文化をより分かりやすく発信する。</li> <li>・美術博物館においてアイヌ歴史講座を開催し、アイヌの歴史や文化に対する市民の理解を深める。</li> </ul> <p>4-4 地域内若しくは地域間の交流又は国際交流の促進に資する事業</p> <p>■アイヌ文化活動拠点である生活館の整備事業</p> <p>老朽化した生活館の施設整備を行い、施設利用の利便性を高めるとともに、アイヌの人々と地域住民との交流の場を整備する。</p>
6 事業の成果目標等	
(1) 成果目標の達成に向けた工程	<p>(1) 文化振興事業</p> <p>■アイヌ文化伝承事業</p> <p>地域の人々がアイヌ文化を体験することによって、アイヌ文化に対する市民の理解が深まり、講習会の参加人数が増えるほど効果が高まると考えられる。</p> <p>■ニュージーランドの先住民族等との文化体験・交流事業</p> <p>アイヌ民族が他の先住民族に自らの文化を伝え、他の先住民族がアイヌ民族の文化を体験し理解することで、アイヌの人々が誇りを持って生活し、その誇りが尊重される社会の実現が図られ、多くのアイヌ民族や他の先住民族が当該事業に参加するほど効果が高まると考えられる。</p>

	<p>(2)観光の振興その他の産業の振興に資する事業</p> <p>■アイヌ文化関連の観光プロモーション事業</p> <p>美術博物館のアイヌ関連展示室を整備することで、より分かりやすい形で発信することができ、かつ、本市への誘客促進につながり、美術博物館の入館者数が増えるほど効果が高まると考えられる。</p> <p>(3)コミュニティ活動支援事業</p> <p>■アイヌ文化活動拠点である生活館の整備事業</p> <p>アイヌ民族や地域住民の活動環境の改善を図ることで、老朽化対策だけではなく、高齢者や障がい者にも配慮した施設となり、施設におけるアイヌ文化伝承活動や地域内のコミュニティ活動が活発に行われ、生活館の利用者数が増えるほど効果が高まると考えられる。</p>
<p>(2)成果目標、(中間)目標年度(成果目標に対する現状値、及び成果目標の達成見込みについて記載すること)</p>	<p>(1)文化振興事業</p> <p>ア 講習会参加者数</p> <p>(現状値)平成30年度 延べ106人/年間 (中間目標)令和4年度 延べ162人/年間 (最終目標)令和6年度 延べ162人/年間 成果目標は、達成する見込み。</p> <p>イ 文化体験・交流事業参加者数</p> <p>(現状値)平成30年度0人 (最終目標)令和3年度8人 成果目標は、達成する見込み。</p> <p>(2)地域・産業振興事業</p> <p>美術博物館入館者数</p> <p>(現状値)平成30年度 延べ34,262人/年間 (中間目標)令和4年度 延べ36,300人/年間 (最終目標)令和6年度 延べ36,500人/年間 成果目標は、達成する見込み。</p> <p>(3)コミュニティ活動支援事業</p> <p>生活館利用者数</p> <p>(現状値)平成30年度 延べ2,369人/年間 (中間目標)令和4年度 延べ2,450人/年間 (最終目標)令和6年度 延べ2,500人/年間</p>

	成果目標は、達成する見込み。
(3) 成果目標の確認方法	K P I である講習会参加者数、文化体験・交流事業参加者数、美術博物館入館者数、生活館利用者数について、実績値を公表する。また、行政評価システム等により目標の達成状況について検証を行い、改善点を踏まえて計画期間内の事業実施等に反映する。
7 地域の概要	
(1) 地域におけるアイヌ文化等の現状及び課題	<p>苫小牧市には、昭和 51 年に苫小牧アイヌ協会（旧社団法人北海道ウタリ協会苫小牧支部）が設立され、その後、平成 2 年に生活館が開館し、苫小牧アイヌ協会をはじめとしたアイヌ関連団体及び個人が生活館を拠点に、アイヌ文化の復興や伝承に向け、各種アイヌ講座や伝統儀式を開催するなど、日々アイヌ文化の発信を行っている。</p> <p>また、苫小牧市美術博物館において、北海道指定有形文化財であるアイヌ丸木舟をはじめとしたアイヌ関連資料の展示や、アイヌの文化や歴史を学ぶ講座を開催するなど、苫小牧市ではアイヌの歴史や文化を学ぶ機会の充実が図られており、アイヌ文化に対する市民の関心は高まりつつある。</p> <p>一方で、苫小牧市には様々な要因により永続したコタンが残されなかったため、土着文化の継承がなく、また、アイヌ関連団体の高齢化などによるアイヌ文化の担い手不足により、次世代へのアイヌ文化の円滑な継承が課題となっている。</p> <p>民族共生象徴空間の開設に伴い、アイヌ文化に対する市民の関心はより一層高まることが予想されることから、市民がアイヌ文化に触れる機会をさらに増加させるとともに、今まで以上にアイヌ文化の普及啓発に努め、アイヌの人々が誇りを持って生活することができる環境を整備する必要がある。</p>
(2) 施設等の管理運営体制	苫小牧市生活館及び美術博物館は、苫小牧市が管理している。
(3) アイヌ関係団体及び地域住民の協力体制	市内アイヌ関係団体と、定期的に意見交換を行っている。

## 8 収支予算

## (1) 収入の部

(単位:円)

区 分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比 較 増 減	
			増	減
国庫補助金	4,336,000	3,410,400	925,600	0
都道府県負担額	0	0	0	0
市町村負担額	1,084,000	852,600	231,400	0
参加者負担額	0	15,000	0	△ 15,000
計	5,420,000	4,278,000	1,142,000	0

## (2) 支出の部

(単位:円)

経 費 区 分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比 較 増 減	
			増	減
文化振興事業	3,776,000	1,633,000	2,143,000	0
文化振興事業費	3,746,000	1,603,000	2,143,000	0
報償費	860,000	860,000	0	0
需用費	345,000	290,000	55,000	0
旅費	2,541,000	453,000	2,088,000	0
市町村事務費	30,000	30,000	0	0
需用費	30,000	30,000	0	0
地域・産業振興事業	1,073,000	1,257,000	0	△ 184,000
地域・産業振興事業費	1,065,000	1,257,000	0	△ 192,000
委託料	990,000	1,175,000	0	△ 185,000
報償費	60,000	60,000	0	0
旅費	15,000	22,000	0	△ 7,000
市町村事務費	8,000	0	8,000	0
旅費	8,000	0	8,000	0
コミュニティ活動支援事業	571,000	1,388,000	0	△ 817,000
コミュニティ活動支援事業費	571,000	1,388,000	0	△ 817,000
工事請負費	571,000	1,388,000	0	△ 817,000
合 計	5,420,000	4,278,000	1,142,000	0
委託料	990,000	1,175,000	0	△ 185,000
報償費	920,000	920,000	0	0
需用費	375,000	320,000	55,000	0
旅費	2,564,000	475,000	2,089,000	0
工事請負費	571,000	1,388,000	0	△ 817,000